

リチウムポリマー・AC充電器

パワーバンク・モバイル

取扱説明書

型番 LAU-ECO30

保証書付き

この度はパワーバンク・LAU-ECO30をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
取扱説明書をよくお読みの上、正しく安全にお使いください。
また取扱説明書は大切に保管し、必要な時にお読みください。

お使いになる前に
本器を安全にお使いいただくために「安全上の注意」「使用上の注意」を最初にお読みください。
またご利用になる端末機器の説明書も必ずお読みください。

本器の特徴について

- ・パワーバンクはAC充電器を搭載したリチウムポリマー・モバイル充電器です。
- ・ご家庭ではAC充電器として、外出先ではポータブル充電器としてお使いいただけます。
- ・スマートフォンのECOモード充電オプションを搭載し、スマートフォン電池の劣化を抑えることができます。
- ・従来の通常モード(MAX)充電とECOモード充電は、ボタン一つで変更ができます。
- ・安全性の高いリチウムポリマー電池を採用しました。

充電モードについて

- ・通常モード(MAX)
- 従来通り、スマートフォン/フィーチャーフォンの電話機、ゲーム機、音楽プレーヤーなどの充電が出来ます。
- ・ECOモード
- スマートフォンの充電器として、我が国の各キャリアにより発売された機種は全て適合性を確認しています。
各キャリア以外のMVNOについては順次確認となります。

スマートフォンでエコモード充電！ 新しい時代のスマートフォンの充電モード

●多くのノートブックパソコンの充電には、通常の充電以外に、ECOモード充電オプションがあります。ECOモードで充電する習慣にすれば電池が長持ちしますとの提案です。

●一方、スマートフォンの充電は、充電用アダプターを外さない限り、満充電(100%)まで進行します。これは通常モードの充電、弊社の言う「通常モード(MAX)」充電です。
スマートフォンは主として外出先である「そと」で利用されます。出かける前に充電は終わっているという暗黙の前提があるので、MAXモードが自然だと考えられてきました。

●この前提は、AC一体型モバイル充電器が登場し、変わりました。ACでも、リチウムイオン電池でも、必要に応じて必要ときに充電できるようになり、スマートフォンの電池にやさしいECOモードにも、また時にはMAXモードにも対応できる、新しいモバイル充電の姿ができてきました。

●一方スマートフォンは電話機であると同時に、カメラ、音楽プレーヤー、ゲーム機、簡易なパソコン、その他の機能を搭載したマルチメディアそのものですから、スマートフォン電池もそれに伴って大型化が進んでいます。
100%充電するのではなく、必要な時に必要な量だけを充電するのが新しいモバイルの充電法です。

充電モード	ノートブックパソコン	スマートフォンの例
MAX	容量：100% 時間(不詳)	容量：約100% 時間：約3時間
ECO	容量：80% 時間(不詳)	容量：約85% 時間：約1.8時間

スマートフォンのECOモード充電では、容量の平均約85%で終了しますが、一方、MAXモードで約3時間かかる充電は、ECOモードではその60%＝約1.8時間で済みます。

●わずか15%の充電レベルを上げるのに、この例では、時間で約40%＝1.2時間もかかるのは、割に合いません。しかし、本当に割が合わないのは、この長い時間をかけて、ひたすら電池の容量を100%に近づけることが、ECOモード充電オプションがないために習慣化されてしまい、電池の劣化を早めることになったことです。

●様々なテストの報告がなされていますが、それがこのスマートフォン電池の劣化ゾーンという考え方です。
100%に近づけば近づくほど、電池のストレスは高まるとも言われています。

●ECOモード充電を習慣にして、MAXモードを必要ときに選択してください。

●ある調査によれば、スマートフォン利用のライトユーザーとヘビーユーザーではどちらがスマートフォンの電池劣化がおきやすいかという、一概には言えないとの結果が出ました。ライトユーザーが、毎日充電し、常に満タン状態にしている場合より、ヘビーユーザーが充電をカラにしている場合の方が劣化が遅いというのです。この状態を考えることは大変良い参考になります。

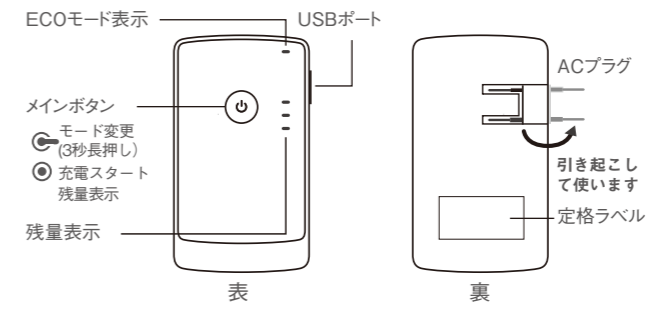
●電池を保存する際は50%程度の充電レベルが推奨されています。化学的に電池は化学反応で充電と放電をおこないますが、その一番安定している状態が50%だと言われていて、それを中心にして上下に30%程度でこまめに充電と使用を行うのが、さらに良いということだと言う方もいます。

●あなたのスマートフォンだけでなく、このモバイル充電器のリチウムイオン電池も劣化から守ってください。それには、お休みになる前に、スマートフォンのECO充電をセットしますと、おおよそ4～5時間後にスマートフォンとモバイル充電器の内部電池が充電終了します。

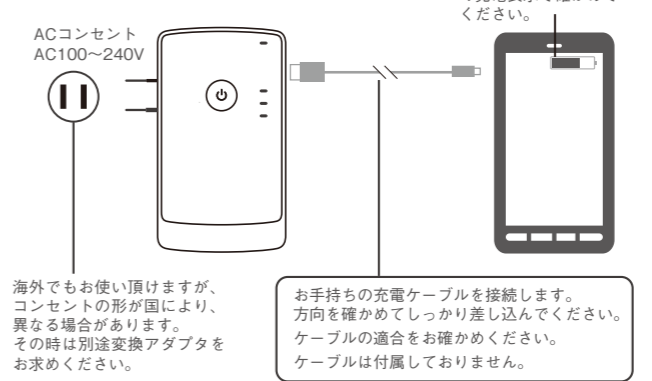
●使用の個人差もありますが、翌日スマートフォンの電池が40%を切ったあたりで、ACからではなく、モバイル充電器から充電してあげてください。
モバイル充電器の電池残量を30%レベルにしてから、次にACコンセントでスマートフォンに充電をしてください。
このように、モバイル充電器もよく使っていただけると、その内部電池の劣化防止にも効果があります。

●プログラムの更新、アプリや動画のダウンロードなど、大きな電力を消費する操作をする際は、モバイル充電器を充電サポートとして用いると大きな威力を発揮します。

1. 各部の名称



2. 接続について

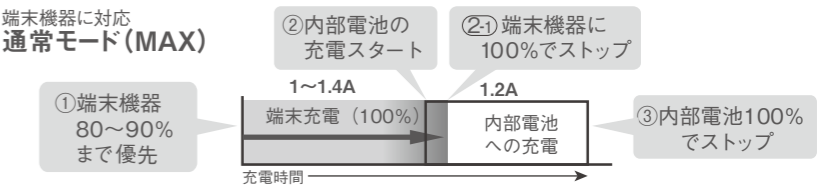


用語について

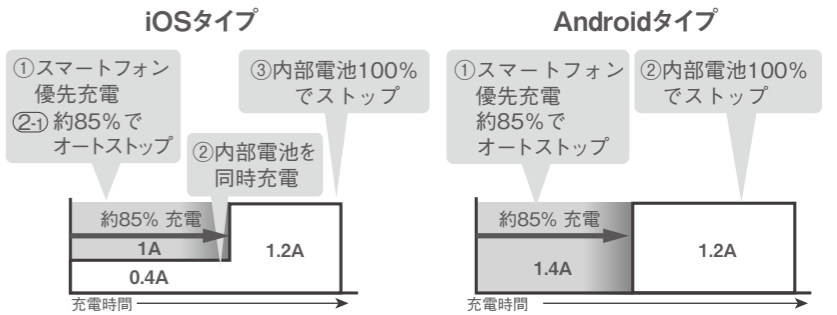
オートストップ：スマートフォンに対し、電力を停止する本器の機能をさします。	端末機器スマートフォン	：本製品で充電できる機器全般をさします。iOS/Androidなどのアプリを搭載した携帯電話機をさします(スマホ)。
オートリピード：スマートフォンに対するモバイル充電の機能をさします。これらの機能及び切替等の機能により、最も効率的なスマートフォンの充電とパワーバンク(内部電池)の充電を実現しています。	フィーチャーフォン	：スマートフォンが発売される以前の型式の携帯電話機をさします。
	MVNO	：Mobile Virtual Network Operator 独自の通信回線を持たずにサービスを行う企業をさします。

使ってみる		充電のしかた		パワーバンクの電池残量表示		
接続の状態		通常モード(MAX)	ECOモード			
		スマートフォン/フィーチャーフォンを含むほとんどの端末機器に対応します	ほとんどのスマートフォンに対応します MAXモードでは点灯しません。			
		iOS/Android 共通	iOSタイプ	Androidタイプ	ECOモード表示	参照事項
A	ACコンセントから 端末機器+ パワーバンク (内部電池)を充電	①端末機器充電開始後80～90%まで充電 ②内部電池充電スタート ②① 端末機器充電100%でストップ ③内部電池充電100%でストップ	①スマートフォン優先充電 ②内部電池充電約85%でオートストップ ③内部電池充電100%でストップ	①スマートフォン優先充電約85%でオートストップ ②内部電池充電100%でストップ	常時点灯	モード変更はメインボタンを3秒間押ししてください。詳しくは ・充電モードの変更について[3]をお読みください ・ACコンセントからの端末機器とパワーバンク(内部電池)への充電について[表1/2][5] ・ECOモードご利用時の注意事項[4]も併せてお読み下さい。 [3・4・5]⇒裏面へ
B	モバイル充電 パワーバンク (内部電池)から 端末機器を充電	メインボタンを一回押す パワーバンクの電池容量の限度まで充電	メインボタンを押してスタート スマートフォン 約85%でオートストップ オートリピード 1.90分休み⇒85%でオートストップ スマートフォンを外した時は、もう1回メインボタンを押す。 90分後にオートリピード。 2.パワーバンクの電池容量の限度まで90分間隔で繰り返す。	充電中は点灯	・モバイル充電：オートリピード充電について[表3] ・ECOモードご利用時の注意事項[4] ・オートリピード充電の動作について[4.1] ・タイマーのカウント中に充電する[4.2]も併せてお読み下さい。 [4・4.1・4.2]⇒裏面へ	
C	ACコンセントから パワーバンク (内部電池)を充電	内部電池を100%充電	内部電池の容量を最大に利用するため充電モードの区別はありませんが、劣化防止のための最小限の設定をしています。	常時点灯		
D	なにも接続していない	メインボタンを一回押す	メインボタンを押して30秒以内に端末機器を接続するとBに移行します。	30秒間点灯		

A ACコンセントからの 端末機器とパワーバンク(内部電池)への充電について [表1]



スマートフォンに対応 ECOモード [表2]



B モバイル充電:オートリピード充電について (ECOモード) [表3]

